

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	設計製図 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位					授業形態	実習
教科書/教材	建築デザイン製図、第3版コンパクト資料集成／補足の資料を配布						
担当教員情報							
担当教員	岩田 明士 、 大澤 公仁 他			実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士		
学習目的							
設計において必要とされる機能、つまり「諸室の繋がり」および「動線」を理解することのみならず、周辺環境と建物の関係性と構造を理解し計画できることを目的としている。さらに住宅にはない家具・設備寸法および人体の動作寸法を理解し、設計の手法を身に着けることを目的としている。また、社会常識を踏まえた上で個性を引き出し想像力を育てることを主眼に置いている。							
到達目標							
この科目では、前期に学んだ正確な図面の書き方を踏まえて上で、公共性のある建築物と街に開かれた住宅の設計ができることを目標としている。健康者のみならず身体障害者の動作寸法および設備寸法を理解させ、街と共生し、なお且つ個性のある設計ができることを目標としている。以上を踏まえた上で、学生が2級建築士程度の知識が備わることが目標である。							
教育方法等							
授業概要	建築は計画敷地と切っても切れない関係にある。そこでこの授業では、敷地調査を行い、その敷地の情報を読み取りかつ周辺環境に与える影響などを考慮しながら設計を進めていく。設計実習においては、第一課題は不特定多数が利用する建物の公共性を理解させ、第二課題は狭小住宅ではあるが、街に開かれたコミュニティ空間を創出する創造性を求めた課題である。プレゼンテーションを通して、図面や模型の表現力を身に付けることを教えていく。						
注意点	この授業では、段階を追って進めていくことを第一としている。遅刻・欠席することなく履修すること。実習においては学生と講師のコミュニケーションを多くとり、理解度および想像力を高めることを目的としている。そのためにも、エスキス・スタディ模型を授業前には準備をして取り組むことを求めている。また、実際の仕事においては期日を守ることが最優先される。したがって期日内にしっかりと成果物を提出することが求められる。						
評価方法		割合	備 考				
	課題	50%	設計課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	講評会	10%	自己表現力を養うために実施する				
	出席状況	20%	時間を守り授業の取り組み度合いを評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	ガイダンス / 第1課題		課題主旨説明 標準的なトイレの平面計画、立体造形（屋根のアイデア） / 敷地調査				
2回	第1課題		エスキス、スタディ模型作成 / 敷地調査のチェックおよび完成				
3回	第1課題 / 模型手直し		エスキス案決定／ 展示模型ブラッシュアップ 自宅課題手描図面作成				
4回	第1課題		図面チェック / プレゼン模型作成				
5回	第1課題 / 第2課題		講評会（課題提出） / 課題主旨説明、敷地調査				
6回	第2課題		敷地調査のチェック / エスキス、スタディ模型作成				
7回	第2課題		エスキス、スタディ模型チェックおよび作成				
8回	第2課題		エスキス案チェックおよび案の決定 / 手書き図面作成				
9回	第2課題		手書き図面チェックおよび完成 / プレゼンシート案の作成				
10回	第2課題		プレゼン模型作成 / プレゼンシートのチェック、ダイアグラムの作成				
11回	第2課題		プレゼン模型作成 / ダイアグラム案チェック				
12回	第2課題		プレゼン模型チェック、模型写真撮影 模型ブラッシュアップ				
13回	第2課題		プレゼンシートのチェック1、模型ブラッシュアップおよび写真撮影				
14回	第2課題		プレゼンシートのチェック2、模型写真撮影、講評会の発表原稿作成				
15回	第2課題		講評会（課題提出）				